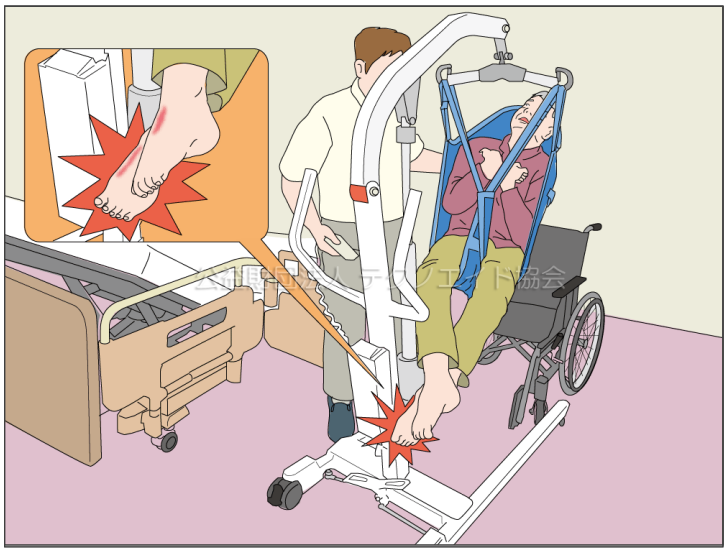
Case：360

# 床走行リフトの支柱に足をぶつけて、ケガをしそうになる

## 場面の説明

床走行式リフトを使い、ベッドから車いすに移乗する際、拘縮して動かせない足がリフトにぶつかりケガをしそうになった



| | |
|---|---|
| 利用シーン | 移乗<br>リモコン操作 |
| 主な利用場所 | 寝室 |
| 介護保険の種目 | 移動用リフト（つり具の部分を除く） |
| 分類コード(CCTA95) | 123603 (吊り上げ式床走行リフト) |
| 介護テクノロジー | ー |
| 二次元バーコード | |

## 解説

床走行式リフトを使った重度者のベッドから車いすへの移乗時に、拘縮して動かせない足がリフトにぶつかりケガをしそうになった事例です。構造上、脚が接触する場合があるため、リフトに柔らかいパッドを貼るなどの工夫が必要です。

## 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：下肢が拘縮で動かせなかった
モノ：脚がぶつかる構造になっており、パッド等の工夫ができていなかった
環境：床走行式リフトしか選択できなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.